

1月27日のナスダック総合指数急落について

米国企業のAIビジネスの成長性を踏まえた冷静な姿勢で臨みたい

2025年1月28日

DeepSeekショックでAI関連株が急落

1月27日（現地）の米国株式市場では、前週末比▲17%と急落したエヌビディアをはじめ、AI関連のハイテク株の多くが下落。ナスダック総合指数は同▲3%の大幅安となりました。きっかけは中国の新興企業DeepSeekが開発した生成AIアプリ。27日に米国のアプリストアでチャットGPTを抜き、無料アプリランキングで首位に立ったことで大きな注目を集めました。DeepSeekの最新モデルについては、①チャットGPTより高性能でありながら、②低コストで開発され、③開発に使用した半導体はエヌビディア製ながら安価で性能が低いものだった、といった会社側の主張が大きく報じられたことで、「AIについての米ハイテク企業の牙城を崩す恐れがある」との見方が台頭。ハイテク株安に繋がりました。

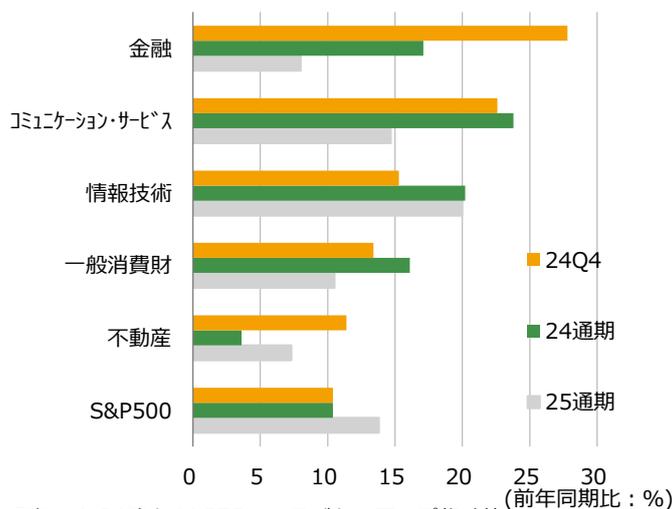
もともとナスダック指数は最近のAI関連株の上昇もあり、予想PERでレンジ（過去10年間の平均±標準偏差）のほぼ上限（24日時点で29倍）にあったため、悪材料が出た場合、売られやすいタイミングにありました。今週から米ハイテク企業の24Q4（10-12月期）決算発表が本格化します。AIビジネスを軸とした高い成長性が示されることで、株価が回復することが期待されます。DeepSeekについてはまだ不透明な点が多いこと、豊富な人材や資本、研究蓄積を背景に、米国企業がAIのトップランナーである点に変わりはないことを考慮すると、過度な悲観は不要と思われる。

図表1 ナスダック総合指数の予想PER



※予想PERはLSEGによる12カ月先予想ベース
σは標準偏差。±1σは統計学上、平均から約68.3%のデータが入る範囲
(出所) LSEGより大和アセット作成

図表2 S&P500構成銘柄のセクター別予想増益率



※予想は1/24時点のLSEGによるボトムアップ集計値
78/500社発表済
(前年同期比：%)
(出所) LSEGより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。